



## ❄️ 冬季到来 ❄️ 感染症と食中毒の予防対策2

新型コロナウイルスの流行が第3波で急速に拡大する中、インフルエンザやノロウイルスの流行も危惧される冬季を迎えました。特徴や対策をまとめましたので、気を緩めず、備えていきましょう

### ①各ウイルス感染症の比較(症状等)

	新型コロナウイルス (COVID-19)	インフルエンザ	ノロウイルス
感染	2020年～流行	冬季に流行	ウイルス性食中毒、冬季に流行
感染症法上の分類	指定感染症(2類感染症相当)	5類定点把握感染症	5類定点把握感染症 (感染性胃腸炎)
感染から発症まで期間	1～12.5日	1～4日	1～2日
主な症状	発熱(軽度～高熱) 咳、喉の痛み、鼻水、全身倦怠感、 頭痛、 <b>味覚嗅覚障害</b> 、結膜炎、湿疹 呼吸が苦しいまたは息切れ 胸の痛みまたは圧迫感 言語障害または運動機能の喪失 重篤な臓器障害 <b>下痢やおう吐がある場合も</b>	<b>発熱(高熱:38℃以上)</b> 咳、喉の痛み、鼻水、 全身倦怠感、食欲不振 関節痛、筋肉痛 頭痛	<b>吐き気、おう吐、下痢</b> 腹痛、頭痛、発熱(軽度) 悪寒、筋肉痛、咽頭痛 倦怠感 <b>下痢やおう吐、激しい</b>
増殖場所	気管、気管支、肺	気管、気管支、肺	小腸
不顕性感染 (症状のない感染者)	あり	あり*	あり
主な感染経路	飛沫感染(エアロゾル含む)・接触感染 糞便からの感染?	飛沫感染・接触感染	経口感染(糞便からの感染) (接触、飛沫、塵埃)
ワクチン	なし	ある	なし
治療	既存治療薬の転用(レムデシビル承認) 対処療法	抗ウイルス薬 対処療法	なし 対処療法

\*インフルエンザの不顕性感染者が感染源になりえるのかは不明

### ②各ウイルス感染症の比較(対策)

	新型コロナウイルス (COVID-19)	インフルエンザ	ノロウイルス
対策(施設の消毒)	アルコール消毒液(60～95%) 次亜塩素酸ナトリウム 500ppm(0.05%)以上 次亜塩素酸水 全般 35ppm以上 (床拭き掃除 80ppm以上) 界面活性剤・第4級アンモニウム塩 (塩化ベンゼトリウム、オスパン、純石けん、 アルコールグルコシド他)		アルコール消毒液 <b>△</b> 効かない* 次亜塩素酸ナトリウム 予防 200ppm(0.02%) 嘔吐物処理 1,000ppm(0.1%) 次亜塩素酸水
対策(飛沫感染)	3密(密閉、密集、密接)回避 ⇒ 換気をする ソーシャルディスタンス (社会的距離1メートル以上、2メートル推奨) マスク着用、咳エチケット、うがい		
対策(個人衛生)	<b>手洗い、手指の消毒</b>		

\*一部効く薬剤があります

### ③新型コロナウイルス感染症、感染リスクが高まる場面

場面	リスクを高める理由
1 飲酒を伴う懇親会	お酒を飲んで聴覚が鈍くなると、大声になったり、感染防止のガードが下がりやすくなったりする
2 大人数や深夜におよぶ飲食	昼間の飲食に比べ酒を飲むことも多く、感染防止ガードが下がりやすい
3 大人数やマスクなしでの会話	接客時や休憩時間などマスクをはずして会話する場合はリスクが高まる
4 仕事後や休憩時間	仕事後や休憩時間の交流で3密を避け、飛沫を飛ばし合う会話にならないよう注意が必要
5 集団生活	大人数が閉鎖した空間に長時間いて交流する場合は、リスクが高まる
6 激しい呼吸を伴う運動	換気の悪い閉鎖空間で人との距離が近く、激しい呼吸を伴う運動を行うとリスクが高まる
7 野外での活動の前後	野外の活動自体はリスクが低い、その前後の車の移動や食事などで3密が生じる場合

\*国の新型コロナウイルス感染症対策分科会のまとめによる

### ④「皆様1人1人個人」が大事！ 何よりも重要な『体調の自己管理』

- 体調が悪いのに無理に出勤する
- 体調が悪い事をわかっていて業務に従事させる
- 身だしなみが整っていない  
(服の管理不足や毛髪・爪の管理不足)  
(お風呂に入らない・栄養不足・睡眠不足)
- 整理整頓がなされておらず、私物や備品管理が徹底されていない  
(製造等に不要なものの放置)

一人一人の意識が  
未然の事故防止に  
繋がる

個人衛生の管理を  
意識しなければ...

食中毒や感染症の大事故になってしまう！



睡眠・栄養を十分取って体力をつける！



\*参考 経済産業省、厚生労働省、国立感染症研究所HP

お問い合わせ先 ⇒

ご質問等ございましたら  
お気軽にお問い合わせ下さい

株式会社エンバイロサービス  
〒060-0005 札幌市中央区北5条西12丁目2  
ベルックス北5ビルA館2階  
TEL: 011-242-8288